

教育支援基金(同窓会)への支援要請(案)について

項目	名称	内 容(支援要請内容・支援の効果等)		金額:円(概算)	備考
学業	オーストラリア語学研修 教員付添旅費	2018年度 ニュージーランド(2週間)が生徒10名 オーストラリア(2週間)が生徒10名 ※付添教員2名 オーストラリア(4週間)が生徒2名 2019年度 オーストラリア(2週間)が生徒15名 ※付添教員2名希望 オーストラリア(4週間)が生徒3名	<p>GLHSの学校では、知識を基盤とするこれからのグローバル時代をリードする人材を育成することを目的に、育成されるべき力として、①幅広い教養と高い専門性、②高い志(社会貢献)と豊かな人間性、③英語運用能力 の3つをあげている。</p> <p>英語運用能力の向上において、予算等の状況から平成31年度より海外で実施してきた修学旅行を国内で実施することにしたので、海外語学研修を実施することはGLHSとしては必須条件となる。また、中学生やその保護者対象の学校説明会においても、海外語学研修やKITECの取組みは高く評価されており、中学生が英語教育を熱心に行っている高津高校へ入学を希望することにもつながっている。海外語学研修の希望者は昨年度も50名くらいあり、数回の選考により参加者を決定し、参加者には研修までの事前学習に参加することを課している。</p> <p>平成31年度はオーストラリア・キャンベラの公立学校での2週間の語学研修とキャンベラ・ガールズ・クラマー・スクールでの4週間の交換留学を計画している。非常に学力レベルの高い学校の通常授業に参加することにより、4技能のうち特にリスニング能力とスピーキング能力が向上している。また、ホームステイによりコミュニケーション力が非常に高まっている。英語学習へのモチベーションも上がり熱心に勉強しており、大いに成果が上げている。また、平成30年度も交換留学生3名が本校に約1か月滞在し、本校生徒と学校生活を共にすることで、本校生徒の英語に関する関心を高くする効果もあった。</p>	650,000	<p>・H30 オーストラリア語学研修付添1名 実績(同窓会) 451,181円 ・H30 ニュージーランド語学研修付添1名 実績(骨太予算)→H31 予算廃止 210,000円 実績(GLHS予算) 257,715円 ※H31はオーストラリアへ一本化 <u>合計90万円のうち65万円</u></p>
学業	タブレット端末(IPAD)の購入及びクリエイティブラボへ情報コンセントの設置について	9.7インチIPAD 128G 20台 クリエイティブラボへ情報コンセント設置	<p>2020年度の入試改革、2024年度の指導要領の改訂に伴い、『課題研究』の重要性は増すばかりである。SSHに指定された2008年度から始めた『課題研究』は、2018年度から、入学者が全員文理学科となり、全生徒が課題研究を行うこととなった。</p> <p>本校は、『課題研究』の特性が、受験の手段のみならず、校是の『自由と創造』を具現化する教材であると確信している。</p> <p>しかし、課題研究を実施する生徒が一気に200人増加するのに対し、活動場所とPCが不足している。そこで、C.Lで学校情報ネットワークのwifi環境を用意し、そこで使用できるPCとしてIPADを希望する。現在、学校に支給されているのはノート型PCだが、今後の社会の動向や使いやすさという点で、IPADのようなタブレット型PCが必要不可欠だと考えている。</p>	1,361,016	H31概算見積
学業	実戦的英語コミュニケーション能力養成講座	(基礎コース) 1年生対象。5~8名を1グループ、1グループにネイティブスピーカー1名が付いて指導する。120名×3日間。	ほとんどの生徒にとって、一日を英語だけで過ごす体験は初めてであり、非常に刺激的な体験となっている。5~6人の少人数に1人のnative teacherが指導してくれて、discussionからdebateまで英語運用能力を引き上げてくれる事業である。生徒の満足度が非常に高く、97%が自分の英語力を伸ばせたと解答している。特にリスニング能力とスピーキング能力の伸びを実感している。この1日英語体験を通して、更にレベルアップした英語力と英語環境を持ちたいと思う生徒に対する良い土壌を作り上げる事業である。		H30実績(教育後援会) KITEC 1日 345,600
		(発展コース) 1,2年生の希望者対象。1日間。	基礎コースで習得した英語コミュニケーション上の運用力を踏まえて、さらに難易度の高い特に科学的なトピックについてのdiscussion / debate のためのスキルを身につけることを目標とする。平成30年度は予算の関係で実施できなかったが、平成29年度は100~110名の希望者(ほとんどが1年生)で実施した。夏休み中に実施するため、部活動合宿等の行事との調整があり、実施は1日となる予定。	350,000	H30実績(SSH予算) KITEC 2日 691,200 H31新規 KITEC 1日
	小計			2,361,016	

項目	名称	内 容(支援要請内容・支援の効果等)		金額:円(概算)	備考
クラブ活動	剣道部	試合用胴(選手7名分)の購入	<p>剣道の団体試合においては7名の登録が認められている。他校(公立でも)では、士気を高める効果もあるため、各学校で試合用に校章などを入れた胴を揃えているところも多いが、本校には無いのが現状である。傷んでも修理できるため、10年以上の使用が見込める。生徒所有の物ではなく、選手になった生徒のみが試合時に限り使用するため、個人購入してもらえないこともあり、今回の支援を要請した。</p> <p>活動状況等 29年度 大阪府公立大会男子団体3位 30年度 大阪府公立大会女子団体3位 夏の近畿大会出場基準が大阪府ベスト8以上で、この数年は本校はベスト16(近畿大会を賭けるところ)まで勝ち上がることもある状況です。 剣道のインターハイ・近畿大会予選は、地区別にせず府下の公立・私立の学校全てを抽選によるトーナメント戦で戦います。(リーグ戦なしで一発勝負) 例えばベスト8の実力があっても優勝するような強豪私学と一回戦で当たることもありますし、通常でもベスト8までいくには強豪私学を2~3校は叩かないといけません。そういうことから援助の効果について保証はできませんが、剣道は審判協議ですので、身形ひとつとっても審判に与える影響は大きく、チームの一体感ということから選手の士気が高まることは間違いありません。 また高校生期であれば、「自分も選手になってあの胴をつけたい」という純粋な憧れが目標となり、部内でも7人の選手枠を争って、日常の練習から切磋琢磨してくれると思います。 生徒たちは結果も求めて日々頑張っています。一生懸命研鑽している生徒たちを応援していただけたら有り難いと思います。</p>	210,000	吉本紫野
クラブ活動	吹奏楽部	ヤマハ グロツケン YG-250D	<p>(1)より良い音楽パフォーマンスを実現することが出来るようになる。 (2)部活動財政の好転に資することが出来る。 (3)同窓会からこういった形で様々なご支援をいただくことにより、よりいっそう「高津愛」が高まる。</p> <p>活動状況等 (1)平成29年度 第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会(運動部でいうと近畿大会に匹敵するもの)に「第5ブロック合同吹奏楽」という形で出場。[平成29年11月12日(日) ザ・シンフォニーホールにて] (2)平成30年度 夏の大阪府吹奏楽連盟主催の吹奏楽コンクール中地区大会小編成部門[平成30年8月4日(土) 大東市総合文化センターにて]で金賞。大阪府大会進出の代表金賞は逃したものの、中地区小編成バンドの公立高校の中ではNO1の実績を上げております。 そして、これからの更なる「伸びしろ」ということですが、パーカッション(打楽器)は、練習を少々積んでもなかなかごまかしがききません。より多くの練習をするため、また高い値段の楽器はいい音が鳴り、「ヤマハ グロツケン 250D」を買っていただけるならば、曲のパフォーマンスは確実に上がります。 そして、大阪府中地区大会金賞(代表金賞)→府大会進出→・・・、といったことも夢ではなくなるかもしれません。</p>	85,000	大畑正弘
		小計		295,000	
		合計		2,656,016	

※SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業 H30 900万 → H31 750万 △150万

※骨太英語力養成事業 H30 100万 → H31 0 △100万